

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
要望問題名 海藻養殖の食害に対する対策	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 走水大津支所及びそれ以南の鴨居支所、浦賀久比里支所の3支所がワカメやコンブの海藻養殖に対して魚類による食害が特に被害が甚大で、その中でも鴨居支所と浦賀久比里支所は、急に食害に会い大変困っている状態です。 令和3年度以前は、海苔養殖以外は、ほぼ被害はなかったものの、令和4年度以降に何ら前触れ予兆もなくワカメやコンブの海藻養殖が被害にあいました。海中の海藻養殖施設の種糸に種を差しても直ぐに食べられ、再度、差し直す作業を行っていますが、海藻の種苗の在庫がある限り交換する作業を繰り返していますが、そのため養殖開始が遅れ、それに伴い収穫時期も遅延しました。漁期も必然的に短縮されも漁獲量も減少しました。今後の対応などの研究指導を要請したくお願いをする次第です。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 沿岸資源管理・増養殖推進事業、水産業推進対策事業、水産業改良普及活動事業 フリー配偶体を用いたワカメの優良系統の開発		
対応の内容等	<p>漁閑期となる冬季のワカメ・コンブ養殖は、漁業者の重要な収入源となっていますが、近年、アイゴやボラ、クロダイ等による食害被害が発生するとともに、水温上昇等による生育阻害もあいまって、大きな影響を受けています。食害の防止を図りワカメ養殖筏を網で囲う「食害対策ネット」を設置する試験を行ったところ、対照の未設置筏ではアイゴ等による壊滅的な食害被害があったのに対し、食害対策ネットを設置した養殖筏ではほとんど食害被害がなかった、というような結果も得られています。</p> <p>引き続き、食害を減らすような筏の設置方法や養殖時期について工夫を行ったり、他県等での対策事例を収集・普及するなどすることで、食害被害の低減に努めてまいります。</p> <p>一方、現在、県内各地からワカメの母藻を取り寄せ、これらからワカメの種に相当するフリー配偶体の確保し、水技センターにおいて、継代培養を実施しています。これらの中から、昨年は高成長系統の開発に着手しています。今後、更に早生ワカメ、高水温耐性系統などの優良系統の開発も図って参ります。</p> <p>また、水産技術センターによるワカメ種苗の生産・配布はできませんが、漁業者自身による種糸生産の確保が安定的に出来るように、従来法よりも種糸の作成が容易なフリー配偶体を用いた新しいワカメの生産方法について、漁業者と協力しながら開発、普及を進めて参ります。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			